

平成27年蔵王町議会定例会3月会議

町長施政方針

蔵王町

(平成27年3月2日)

平成27年蔵王町議会定例会3月会議が開催されるにあたり、ご審議いただきます平成27年度一般会計予算をはじめ、各議案の説明に先立ち、町政運営に対する私の基本的な考え方を申し述べ、議員の皆様をはじめ、町民の皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

さて、本町は、本年4月1日で町制施行60周年を迎えることになりました。

この節目の年にあたり、町の発展と町民の生活向上のため、英知を結集し、幾多の困難を乗り越えながら、今日の蔵王町を築いてこられた先人の皆様に対し、心より敬意と感謝を申し上げます。

私も、町政を預かる立場として、議員の皆様、町民の皆様のご指導、ご協力を賜りながら、今後

とも、町の発展、町民の福祉の向上に向け、なお一層努力していきたいと決意を新たにしているところであります。

さて、急激な少子・高齢化、人口減少社会を迎えている我が国の現状を踏まえ、安倍内閣は「地方創生」を最重点課題と位置付け、昨年12月に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種施策を展開しようとしております。

本町では、「第四次蔵王町長期総合計画」に基づき、各種まちづくり施策を計画的に進めているところでありますが、新年度中に「蔵王町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「活気ある、住みよいまちづくり」に向けた施策を、さらに推進していきたいと考えております。

次に、防災・減災対策について申し上げます。

県内の津波被災地では「東日本大震災」からの

復興途上にある中、ここ数年、記録的な豪雨、豪雪などにより、大規模な被害が、国内各地で相次いでいるところでもあります。

また、昨年9月には御嶽山の噴火により、大規模な人的被害が発生し、さらに10月には、仙台管区気象台から蔵王山の火山活動が活発化しているという解説情報が出され、町民はもちろん、観光客や登山客の安全対策、警戒避難対策の充実が求められるところでもあります。

このように多様な災害対策を求められている状況ではありますが、町民の生命、財産を守っていくことは、行政の最も大切な使命であると考えております。

これまでも、火山災害対策では監視機器や情報通信網の整備を最優先と考え、国・県などに要望を行ってきましたが、今後も関係機関、関係市町

との連携、協力のもと、防災・減災対策を強化する一方、本町単独で実施できるものについては、できる限り早期に取り組んでいきたいと考えております。

次に、本町を取り巻く経済情勢について申し上げます。

国政においては、昨年12月の総選挙において、国民の多くが安定した政治を選択し、安倍内閣の経済対策「アベノミクス」が継続することになったところであります。

現在、国全体では、円安を背景に輸出関連企業の業績が堅調に推移する一方、消費税率引き上げの影響で国内消費が低迷していることから、景気の足踏み状態が続いており、国では3兆5千億円余りの緊急経済対策を柱とする補正予算で、景気対策に力を入れているところであります。

一方、本町においては、震災復興需要などにより、雇用情勢は概ね安定しているのではないかと考えております。

しかしながら、一方では東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故による風評等の影響が残る中、蔵王山の火山活動の影響も加わり、観光関連事業などを中心に、厳しい状況にある企業・個人事業者も多いのではと認識しております。

また、農業については、米価の大幅な下落や生産調整における補助金の減額により、農家経済は大きな痛手を被っていることに加え、農協改革、農業委員会制度改革など、国の政策の見直しに伴い、非常に大きな転換期を迎えており、TPP交渉も厳しい状況が予想されます。

本町においては、こうした経済情勢の中、町民の皆様が安心して暮らすことができるまちづく

りを目指し、引き続き各種経済対策や、高齢者、障がい者、子育て世代などの支援に努めていきたいと考えております。

次に、平成27年度を含めたこれからの財政運営について申し上げます。

昨年9月会議における「平成25年度決算の評価・概要」でも申し上げたとおり、本町の財政状況は、財政健全化法に定める「実質公債費比率」などの指標や地方債の現在高、基金積立額の状況などをみると、健全財政を維持できている状況にあると考えております。

しかしながら、毎年申し上げているところではありますが、高齢化の進展に伴う社会保障費の自然増に加え、公共施設の補修費や更新費用の増加、防災・減災事業の増加など「安全で安心な、住みよいまちづくり」を進めるためには、避けること

のできない財政負担が、年々増大していくのではないかと考えております。

また、蔵王病院・刈田総合病院については、依然として厳しい経営状況が続いており、本町の財政に少なからず影響を与えているところでありますが、地域医療や二次医療・救急医療の中核的病院を維持していくことはとても重要なことと思っております。

仙南地域広域行政事務組合（仮称）仙南クリーンセンターの新年度の負担金は、26年度に比べて10倍以上になっているほか、近い将来、これ以外の衛生施設についても、老朽化による建て替えや、廃止施設の解体などに伴う負担が増えてくるのではないかと考えております。

こうした状況で、今後とも町が自立して自らの道を切り開いていくためには、出来る限り歳出を

削減し、歳入を確保しなければなりません。

国では、平成27年度予算案において、13兆4,000億円になっている基礎的財政収支（プライマリーバランス）の赤字を、5年後の平成32年度には黒字化するとしており、年内にも大幅な歳出削減を伴う「財政再建計画」が示されるのではないかと考えております。

このことは、本町の財政運営にも大きな影響が出てくるものと考えられ、既に国の平成27年度一般会計予算案では、地方交付税への繰り出しを前年度対比3.8%のマイナスにしているなど、今後益々厳しさが増してくるものと認識しているところであります。

このように、今後の財政運営は、決して楽観できる状況にはありませんが、安全で安心、そして心豊かに暮らせる、健全で活力ある地域社会を、

町民の皆様と行政が一緒になって作っていく、「協働のまちづくり」を目指していくことが、私に課された大きな使命であると考えております。

次に、平成27年度の予算編成にあたり、基本的な考え方を申し上げます。

平成27年度一般会計予算の総額は、前年度に比べて6.5%、3億5,000万円増の57億5,000万円としました。

26年度に続き、町税収入の増加が見込まれることや、公共施設の増築・道路改良事業費などを増額したことに加え、(仮称)仙南クリーンセンターの負担金が大幅に増えたことが、増額になった主な要因であります。

また、国の平成26年度補正予算では、「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を創設し、

地域消費喚起・生活支援及び地方創生先行事業を実施する自治体に交付することにしておりますので、この交付金に係る事業を繰越明許とし、新年度事業と併せて執行することとしております。

なお、平成27年度の主要事業・新規事業を一覧表として添付させていただきましたので参考にして頂ければ幸いです。

次に、主な歳入について申し上げます。

まず、町税では、個人町民税は、引き続き雇用情勢が安定していると見込まれることから、前年度対比6.2%増、一方法人町民税は、地方法人税への税源移譲に伴い、税率が引き下げになることから3.7%減を見込んだところであります。

固定資産税については、地価下落傾向が続いているものの、徴収率が向上していることなどを踏

まえ、前年度対比2.7%増を見込んだところ
あります。

地方消費税交付金については、昨年4月に実施
した地方消費税率改定が、新年度の収入分から完
全に反映されるため、前年度に比べ4,613万
1千円・28.7%の増を見込んでおります。

なお、地方消費税交付金のうち、社会保障費に
充てる分（税率引き上げ分）は8,632万1千
円と見込んでおります。

地方交付税のうち、普通交付税は、町税収入を
2.3%増と見込んでいることなどを考慮し、前
年度対比3.5%減とする一方、（仮称）仙南ク
リーンセンター負担金の一部について、震災復興
特別交付税が措置される見通しであることから、
全体では10.0%増額と見込んでおります。

国庫支出金については、道路改良事業に係る土

木費国庫補助金が大幅に増えたことなどから、前年度対比31.4%増としたところであります。

県支出金については、緊急雇用対策事業の大幅な縮減等により、前年度対比14.0%減としたところであります。

繰入金については、B&G蔵王海洋センター及び宮保育所の増築工事などの財源に充当するため、各基金からの繰り入れを行いました。地域の元気臨時交付金基金からの繰り入れがなくなったことなどから、前年度対比9.3%減としたところであります。

また、多様化し、増加する財政支出需要に対処するため、財政調整基金から1億6,000万円を繰り入れすることとしております。

次に、歳出予算における主な事業について、第四次蔵王町長期総合計画に掲げる「施策の大綱」ごとにご説明申し上げます。

健やかなまちづくり（保健・医療・福祉）
～みんなが、心も体も健康になる～

まず、健やかなまちづくりに向けてであります。

平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」に基づく「子ども・子育て支援新制度」は、新年度からスタートするところであります。

本町においては、平成27年度から5か年間の「蔵王町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援に係る各種施策を総合的に推進することにしております。

計画のスタートとなる新年度は、「地域住民生活等緊急支援のための交付金」も活用しながら、

町独自の施策である「すこやか養育助成金」、「乳幼児紙おむつ券助成」、「子ども医療費助成」などの各種施策を継続し、子育て世帯の経済的支援に努めて参ります。

また、26年度から小学1年生から中学2年生までの児童・生徒に対し、自己負担1,000円で「インフルエンザ予防接種」が受けられるようにしたところではありますが、新年度から助成対象年齢を0歳児まで引き下げ、家庭内感染の予防にも努めることにしております。

「あったか支援金」、「母子・父子家庭医療費助成制度」についても制度を継続し、ひとり親世帯の経済的支援に努めて参ります。

保育サービスでは、新年度に、宮保育所の保育室増築工事を行い、今後の保育所のニーズに応えることにしております。

児童館では、新年度から放課後児童クラブの対象児童を、小学6年生まで拡充することにしていきますので、臨時職員を増員し、児童の健全育成及び施設内の安全確保に努めて参ります。

また、繰越事業になりますが、不妊治療を受ける方に新たな補助制度を創設するなど、「蔵王町子ども・子育て支援事業計画」の基本理念に掲げる「子どもを生き育てることを喜び、悩みを共に分かち合い、支えあえる町」の実現を目指していくこととしております。

高齢者や障がい者福祉についても、食の自立支援事業（配食サービス）、介護用品給付事業、障害者地域生活支援事業など、各種支援事業を継続し、よりきめ細かに各種サービスの提供に努めることとしております。

次に、地域医療の充実に向けては、地域の医師

会などと連携しながら、休日診療、救急診療の体制を維持すると共に、近隣市町と共同で、16歳以上を対象とした「仙南平日夜間救急外来診療」を開始するほか、蔵王病院の体制強化を図り、必要な時に必要な治療を受けることができる医療体制を維持していきたいと考えております。

次に、所得が少ない方の支援については、26年度に続き実施することとしている「臨時福祉給付金」、「子育て世帯臨時特例給付金」に加え、本町独自の施策（繰越事業）として、高齢者、障がい者、母子・父子世帯のうち、住民税非課税世帯に対し1世帯あたり5,000円の福祉商品券を配布し、より一層経済的支援を充実することにしております。

学び楽しむまちづくり（教育・文化・スポーツ）
～みんなが、生き活きとなる～

次に、学び楽しむまちづくりに向けてであります。

教育分野においては、平成26年6月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化などを盛り込んだ新しい教育制度が、新年度からはじまります。

こうした中、本町においては「蔵王町学校教育環境検討委員会」からの小中学校の統合が適当であるという答申を受け、今後の学校教育のあり方について、町長事務部局と教育委員会が連携し、具体的な対応策を協議していくことにしたところであります。

この問題につきましては、将来の蔵王町を担う

「子どもたちの教育環境」をどのように整えていくのかということをも最優先に考えながら、具体的な施策を取りまとめていきたいと考えているところでもあります。

次に、学校教育については、すべての児童・生徒が、蔵王町の自然・文化・歴史に慣れ親しみ、創造性と人間性豊かな子どもに育つよう、スキー教室や地域の人と合同で実施する防災訓練などを、継続することにしております。

また、継続事業として「特別教育支援員」9名を配置し、特別な支援を必要とする児童・生徒一人ひとりのニーズに適切に対応するほか、新年度から「いじめ防止専門委員会」等を設置し、なお一層、児童・生徒の健全育成に努めて参ります。

更に、外国語指導助手による英語教育の充実や学び支援コーディネーター、学校支援員による課

外授業、学校図書支援員による学校図書室の機能充実など、児童・生徒の学力向上に向けた取り組みを継続することにしております。

学校の施設整備では、26年度に続き小学校の職員室・校長室エアコン設置工事を進めるほか、小中学校の修繕料を増額し、施設の安全確保と教育環境の向上に努めて参ります。

幼稚園については、照明器具をLED照明に改良することにしております。

次に、生涯学習分野では、昨年の「ふるさと文化会館開館10周年」に続き、町制施行60周年記念事業として、年間を通してコンサートや演芸会などを実施していくことにしております。

スポーツイベントでは、昨年に続き11月に「三遊亭円楽杯ゲートボール交流大会」を開催するほか、5月には公益財団法人日本ゲートボール

連合が主催する「笹川良一杯第30回全国選抜ゲートボール大会」を総合運動公園で開催し、競技の振興と、交流人口の増加を図って参ります。

生涯学習、生涯スポーツ施設については、平沢地区公民館の屋根改修を行うほか、B&G蔵王海洋センターに観覧席を設置するなどの増築工事を行い、なお一層利用しやすい施設づくりに取り組んで参ります。

美しい快適なまちづくり（環境・生活基盤）
～みんなが、誇りを胸に～

次に、美しい快適なまちづくりに向けてであります。

はじめに、昨年の御嶽山の噴火では、自然界のエネルギーの脅威をまざまざと見せつけられたところでもあります。

一方で火山は、美しい風景や温泉、更に肥沃な大地を生み出すなど、地域の人々に大きな恩恵をもたらしております。

現在、蔵王山は火山活動が活発化しているとされていますが、ふもとに暮らす私たちは、火山の危険性と恩恵を改めて認識しなければならないと考えているところでもあります。

こうした現状を踏まえ、ジオパーク出前講座、ジオパーク教室などを継続して開催し、環境の保

全にとどまらず、火山活動に対する備えなどの啓発に努めていくことにしております。

また、地球環境にも配慮した「循環型地域社会」の形成を目指して実施している「住宅用太陽光発電システム設置事業補助金」も継続していくことにしております。

道路整備では、引き続き「城山線」の改良工事を進めるほか、新年度から「湯口線」改良工事に着工することにしております。

併せて、下別当1号線、台町鎌倉線（学校前橋）については、改良に向け設計を進めていくことにしております。

また、昨年2月の大雪の際は、除雪作業に手間取ったことを踏まえ、ロータリーも装着できる除雪ドーザーを購入することとし、引き続き安全で快適な道路の維持・整備に努めて参ります。

活気あるまちづくり（産業）

～みんなが、元気になる～

次に、活気あるまちづくりに向けてであります。

まず、冒頭で申し上げたとおり、国の大きな政策転換に加え、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故、蔵王山の火山活動活発化などにより、本町の基幹産業である「農業」と「観光」は、厳しい状況にあると考えております。

こうした中、引き続き農産物の安全・安心には万全を期すと共に、安全・安心を発信し続けるため、空間放射線量や農産物の放射能測定を継続し、その結果をホームページや広報号外版で公開していくなど、正確な情報開示に努めていくことにしております。

また、「果樹病害虫防除対策事業」については、新年度も継続し、一斉防除により農産物の品質を

高めていきたいと考えております。

次に、イノシシによる獣害対策については、年々被害が拡大しておりますので「農作物有害鳥獣駆除対策事業補助金」を大幅に増額し、駆除に努めるほか、電気柵設置事業の補助金も倍増し、被害の軽減に努めていくことにしております。

次に、仙南広域農道については、本年秋に全面開通になる見通しで、新年度は、ガードレールなどの施設や案内板を整備する予定であります。

また、円田2期地区ほ場整備事業については、3月末までに換地登記を申請する見込みであり、新年度は補完工事等を実施し、生産基盤をしっかりと整備していくことにしております。

次に、「プレミアム付き商品券発行事業」については、「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用した繰越事業で、今までより規模を拡

大して実施し、なお一層、地域の商業振興に努めていくことにしております。

また、観光振興については、同じく繰越事業がありますが、防災協定を結んでいる東京都葛飾区の住民を対象とした「宿泊費助成付きの旅行プラン」をつくり、遠刈田温泉で受け入れることにするほか、新年度に設立予定の「蔵王町観光物産協会」の体制強化に向けた助成を行うなど、各種振興対策に取り組んでいくことにしております。

なお、「日本の蔵王ヒルクライム・エコ」については、火山活動活発化に伴う被害想定などが定まらないため、イベント中の防災・避難誘導計画などを策定できないことから、本年は中止せざるを得ないという結論に至っておりますが、「とおがった大道芸」や「全国伝統こけしろくろまつり」などのイベント支援のほか、各種キャンペーンを展開し、誘客に努めていきたいと考えております。

共に創るまちづくり (町民参加・安全・行政運営)
～みんなが、一緒に～

次に、共に創るまちづくりに向けてであります。

まず、防災、減災対策については、冒頭で述べたとおり、行政と町民の皆様が一体となり、「自助」、「互助」、「公助」の精神に基づき、いろいろな災害を想定した各種施策を早急に進めていく必要があると考えております。

こうした中、地域の防災・減災、安全・安心の担い手である消防団、交通指導隊及び防犯実働隊の団員・隊員を育成していくことは、将来のまちづくりにおいても重要なことだと認識しております。

こうしたことから、新年度で消防団の防火衣を配備するほか、繰越事業で交通指導隊及び防犯実働隊の制服を更新することにしております。

自主防災組織については、引き続き設立支援・指定避難所太陽光発電システム設置の補助を継続するほか、行政区との連携を深め、できるだけ早く町内各地で、自主防災組織の設立を進めていきたいと考えているところであります。

災害対策用備蓄資機材については、町内5地区のうち、既に4地区で配備が完了しており、新年度は、宮地区指定避難所に配備することにしております。

また、今まで「観光振興」を主な目的に設置していた刈田岳山頂の「ライブカメラ」が老朽化したことから、繰越事業において、火山活動の監視にも対応できる高感度カメラを併設した設備に更新し、今年のエコーライン開通時期に合わせて設置する予定であります。

なお、年間を通じた火山監視・情報発信体制を

整備するうえで必要な山頂付近の恒久電源の確保については、引き続き関係機関に働きかけて参ります。

次に町制施行60周年の記念事業については、4月10日に記念式典を開催するほか、ざおうさまをデザインした「ご当地ナンバープレート」、企業や個人事業者のご協力をいただき作成している「くらしの便利帳」を発行し、さらに9月上旬に記念事業を開催することにしております。

次に「社会保障・税番号制度」は、本年10月に個人番号を全世帯に通知し、28年1月から運用を開始することになっております。

運用開始に向けては、個人情報保護に万全を期すと共に、必要なシステム改修費を当初予算に計上し、円滑に実施できる体制を整えていくこととしております。

次に「地方創生」への取り組みについて申し上げます。

第189回国会の施政方針演説で、安倍総理は「熱意ある地方の創意工夫を全力で応援する。それこそが安倍内閣の地方創生であります。」と述べておられます。

本町の恵まれた自然環境、多彩な農産品など、町の資源を活かした、持続可能な仕組みづくりに向け「まち・ひと・しごと総合戦略」を、できるだけ早い時期に策定したいと考えております。

このため、私を本部長とし、各課の課長等で構成する「蔵王町まち・ひと・しごと創生推進本部」を立ち上げ、本日夕方に第1回目の会議を開くことにしております。

なお、総合戦略は、アンケート調査、町民の代表で組織する会議や住民懇談会などを通じて、町

民の皆様の意見を反映させながら策定する予定であり、繰越事業として関連予算を計上することにしております。

次に、財政健全化に向けては、将来の町債繰上償還などに備え、減債基金への積立を継続するほか、歳入になりますが、町債の発行については、将来の実質的な財政負担等も考慮しながら、適正水準を維持していくこととしております。

町制施行60周年という節目の年度にあたり、今まで申し上げたことを踏まえながら、町政の責任者として、覚悟を持って決断し、各種施策を進めていきたいと考えております。

どうか、町民の皆様並びに議員の皆様の一層のご理解とご協力、そしてご支援を心からお願い申し上げます、平成27年度の施政方針といたします。

平成27年度当初予算の主要事業（一般会計）

単位：千円

主管課	事業概要	金額
議会	会議録作成、議場放送・中継システム保守委託料	2,426
総務	パソコン購入費（セットアップ料込・XP問題対応）	8,438
〃	こけし橋駐車場屋外トイレ新築工事費	新 6,000
〃	宮城県議会議員選挙費	新 6,888
〃	蔵王町議会議員選挙費	新 10,343
〃	消防団防火衣購入費	新 9,680
〃	小型消防動力ポンプ購入費（小村崎班・曲竹北班）	新 3,045
〃	災害対策用備蓄資材購入費（宮地区）	新 2,750
〃	自主防災組織支援事業補助金	750
〃	指定避難所用太陽光発電システム設置事業補助金	10,000
まちづくり推進	減債基金積立金（利子を除く）	30,000
〃	町民バス運行委託料	6,000
〃	町民タクシー委託料	3,904
〃	地方公会計整備支援業務委託料	新 4,500
〃	町制施行60周年記念事業開催委託料	新 4,750
〃	地方バス路線維持費補助金	5,500
〃	NPOいやしの郷北境助成金	1,719
〃	地域イントラネットサーバ購入費	新 5,940
〃	地域産業振興事業委託料（雇用創出基金）	16,630
〃	地域人づくり事業委託料（雇用創出基金）	10,310
〃	国勢調査費	新 4,973
〃	町債元金償還金	450,349
〃	町債利子償還金	56,100
町民税務	土地改良区地図データ編集作業委託料	新 1,187
〃	公用車（徴収車）購入費	新 1,474
〃	滞納管理システムリース料・保守料	新 3,185
〃	国民健康保険特別会計繰出金（子ども医療費繰出含む）	110,511
〃	後期高齢者療養給付費負担金・広域連合分賦金等	158,710
〃	後期高齢者医療特別会計繰出金	43,542
〃	母子・父子家庭医療費助成金	1,910
〃	子ども医療費	43,753
〃	心身障害者医療費	25,500
環境政策	合併浄化槽設置整備事業補助金	8,116
〃	住宅用太陽光発電システム設置事業補助金	6,000

主 管 課	事 業 概 要	金 額
環 境 政 策	水道事業会計（上水・簡水）補助金・出資金	53,479
〃	放射能対策費（臨時職員費・公開システム等）	4,451
〃	塵芥収集運搬委託料	46,656
〃	仙南広域（仮称）仙南クリーンセンター負担金	260,882
保 健 福 祉	敬老祝金	5,290
〃	食の自立支援事業委託料	7,755
〃	敬老会負担金・記念品	4,873
〃	老人福祉施設措置費	7,560
〃	介護職員資格取得支援補助金	新 500
〃	介護保険事業低所得利用者負担対策給付費	1,836
〃	介護用品給付費	4,140
〃	介護保険特別会計繰出金	150,187
〃	老人憩いの家湯機等更新工事費	新 4,752
〃	地域生活支援事業委託料（相談・手話・移動支援等）	4,236
〃	障害者小規模作業所運営費補助金	2,400
〃	障害福祉関係扶助費（支援費等）	225,819
〃	社会福祉協議会助成金	15,279
〃	臨時福祉給付金	16,800
〃	あったか支援金	4,000
〃	児童手当	187,550
〃	宮保育所保育室増築工事費（設計委託料含む）	新 28,850
〃	臨時児童厚生員賃金（法定福利費含む）	21,146
〃	妊婦健康診査委託料	7,000
〃	子育て支援各種予防接種・健診委託料・助成金	26,764
〃	子育て世帯臨時特例給付金	4,275
〃	災害援護資金	2,500
〃	休日診療事業（在宅当番医・休日歯科医・病院輪番群）	3,589
〃	各種健康診査・がん検診・保健指導委託料	25,437
〃	高齢者インフルエンザ・肺炎球菌予防接種委託料	8,067
〃	公用車（家庭訪問用）購入費	新 1,455
〃	蔵王病院事業会計補助・出資金	90,829
〃	公立刈田総合病院事業会計負担金補助・出資金	105,951
農 林 観 光	果樹病虫害防除事業薬剤費	1,556
〃	農作物有害鳥獣駆除対策事業・担い手育成補助金	5,668
〃	野生鳥獣被害対策防止施設（電気柵）設置事業補助金	5,000
〃	園芸特産重点強化整備事業費補助金	9,417
〃	蔵王ブランド確立体制強化事業補助金	2,100

主管課	事業概要	金額
農林観光	多面的機能支払交付金事業負担金	新 12,825
〃	市町村機構集積協力金	新 3,100
〃	資源循環型「蔵王爽清牛」推進協議会助成金	800
〃	乳用牛代替飼料購入費補助金	新 900
〃	経営所得安定対策推進事業費補助金	2,538
〃	円田2期地区県営ほ場整備事業負担金	7,700
〃	蔵王町土地改良区事業費・運営費補助金	3,820
〃	松くい虫・ナラ枯れ伐倒事業委託料	1,098
〃	町商工会助成金	5,868
〃	とおがった大道芸19補助金	1,700
〃	中小企業振興資金融資原資預託金	25,000
〃	観光広告料	3,132
〃	町営えぼし無料休憩所修繕工事費	新 1,048
〃	町観光協会助成金	7,602
〃	遠刈田系伝統こけし後継者雇用対策事業委託料	2,880
〃	全国伝統こけしろくろまつり負担金	1,200
〃	商工振興支援事業委託料（雇用創出基金）	2,648
建設	農道・用排水路維持補修・改良工事費	17,080
〃	県営事業（仙南広域農道）負担金	4,170
〃	木造住宅耐震改修工事助成金	1,100
〃	除融雪作業委託料	10,000
〃	町道維持補修・改良工事費	25,510
〃	町道維持補修資材代	4,900
〃	除雪ドーザー購入費	新 36,000
〃	町道湯口線委託料（用地測量・分筆登記等）	新 10,850
〃	町道下別当1号線委託料（測量設計）	新 25,000
〃	町道台町鎌倉（学校前橋）線委託料（測量設計）	新 7,000
〃	道路定期点検委託料	新 7,000
〃	町道城山線改良工事費・湯口線改良工事費	新 88,300
〃	町道改良用地購入費・支障電柱・支障物移転補償費	新 53,300
〃	橋梁局部補修工事費	新 5,700
〃	環境美化保全事業費	新 9,585
〃	河川堤防除草作業委託料	4,520
〃	公共下水道事業特別会計繰出金	162,100
教育総務	特別支援教育支援員賃金（法定福利費含む）	11,529
〃	外国語指導助手業務委託料	9,504
〃	小学校職員室・校長室エアコン設置工事費	新 1,925

主 管 課	事 業 概 要	金 額
教 育 総 務	小学校教師用教科書・指導書購入費	4,414
〃	中学校授業用パソコンリース料 新	2,000
〃	幼稚園環境対応型照明機器改良工事費 新	3,700
〃	谷地遺跡等調査作業員賃金（法定福利費含む）	33,099
〃	谷地遺跡出土遺物年代分析調査委託料	2,465
〃	県指定文化財「刈田嶺神社本殿」保存修理事業助成金 新	2,366
〃	学校給食調理食材費（賄材料費）	58,470
〃	学校給食調理業務等委託料	28,836
生 涯 学 習	平沢地区公民館屋上改修工事費 新	3,600
〃	自主公演業務委託料（町制施行60周年記念事業等） 新	3,000
〃	図書資料購入費	4,000
〃	各種スポーツ大会運営助成金	2,000
〃	三遊亭円楽杯ゲートボール交流大会負担金	1,600
〃	海洋センター増築工事費（工事監理委託料含む） 新	92,020
	【社会保障・税番号制度導入に伴うシステム改修費等】	
まちづくり推進	中間サーバ利用負担金	6,536
町 民 税 務	税情報システム改修委託料	2,279
〃	住民情報システム改修委託料	2,171
〃	統合宛名システム整備委託料	1,480
〃	国民年金システム改修委託料	605
保 健 福 祉	自立支援システム改修委託料	1,637
〃	児童手当システム改修委託料	1,367
〃	子育て支援システム改修委託料	837
〃	健康管理システム改修委託料	1,091
町 民 税 務 保 健 福 祉	国保税・介護保険・後期高齢者医療システム改修に伴う繰出金（再掲）	6,772